



文化財ウォークラリー (池淵史跡公園)

ねりまの文化財



11/12

文化の秋は史跡散歩に! 11/1 ~ 11/7 は「文化財保護強調週間」

11月3日は「文化の日」。この日はさみ、全国で「文化財保護強調週間」の行事がおこなわれます。練馬区では、この時期の前後に史跡散歩などの催しをおこなっています。

史跡散歩 へ光が丘・旭町コース

毎年春と秋の2回、区内の史跡を講師と一緒にめぐる史跡散歩を実施しています。今春は5月21日に練馬コースで、約200名の参加がありました。

今回は、新しい街「光が丘」の歴史を知るとともに、旭町方面に残る文化財をたずねます。

▽とき 11月12日(日) 午前9時30分

正午

※雨天のときは11月19日(日)に延期

練馬区教育委員会
社会教育課
(文化財保護係)
☎993-1111 内線2766
〒176練馬区豊玉北6-12

東早淵遺跡で発掘体験

ひがしはやぶちいせき
早宮一丁目の東早淵遺跡では、公園予定地で、区民に発掘体験をしてもらいました。この写真は、「親子発掘教室」の様子です。(撮影は文化財保護推進員の伊藤 経一・関連記事P3)



説明を聞く参加者

▽集合・申込・受付 当日午前9時

9時30分花とみどりの相談所(光が丘5-2-6)

▽参加費 1人50円(保険料)

巡回するコースなど、詳しいことは練馬区報11月1日号をご覧ください。

上の写真は、10月1日に石神井公園でおこなった「文化財ウォークラリー」のひとつコマです。参加者が、クイズをときながら、史跡を散策して、郷土への理解を深めようというものです。(感想文をいただきました。P4に掲載)

移動していたお地藏さま

はじめて文化財の巡回をしました。担当の地域には、資料に載っていて、現在その場所にはない文化財があることがわかりました。私はそれらがどこに行っただか調べることにしました。

一つは南田中5-1の馬頭観音像です。その近くのたばこ屋さんへ行ってお聞きしますと観蔵院へ移されたとのことでした。その場所は南田中農協のあった角で

新人推進員・文化財巡回記

女性は二名の文化財保護推進員

農協の移転に伴い道路を整備した時に移されたものと思われれます。そこから程近い観蔵院へ行ってみますと、山門前の六地藏の脇に安置されていました。

もう一つは谷原ふみきり地藏です。そのふみきりは西武池袋線が高架になった所で、北側には東京都の道路もできました。西武鉄道、東京都、建設会社に電話しましたがわからないとのことでした。途方にくれました。その後たまたま長命寺に行く機会があって同行した方が、これが谷

原ふみきり地藏だとおっしゃいました。そこで郷土資料室に問い合わせ、写真を見せていただきました。写真で照合すると確かにそれがふみきり地藏でした。現在長命寺奥之院参道にあります。

さがし求めた二つの文化財の所在がわかってほっとしました。

昔の人がその場所に建てたものは、その場所にあつてこそ意味があると思います。現在の生活の利便のためにそれらが追いやられることが起るかも知れませんが、しかしせつかく今まで残されてきた文化財ですから、どこかわかる場所に移して、元どこにあつたかを記録しておくことが必要だと思いました。

文化財保護推進員 岩崎 美智子

目を向けてみたいと思う。

旧聖堂・シスター館(関町東二丁目)

カソリック神学校として、昭和四年開校当時は聖堂、塔、付属した建物もあつ

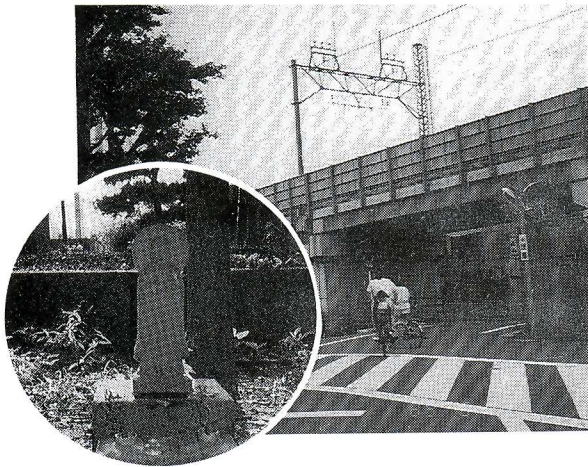
練馬に残る昭和初期の洋風建築

できている。

たが昭和十六年の火災により、聖堂部分を残し消失。現存する当時の正門は敷地の南側に面していたが、今の正門は東側に移り、聖堂を、内蔵する新しい建物が

新しい玄関左手に、旧聖堂から移した聖フランシスコ・ザビエルの大きなステンドグラスが設置されている。

富士見台3-52付近 旧踏切と
長命寺境内へ移された地藏



旧聖堂は現在、広大な敷地の西側に、年代を感じさせられる幹の太い樹木に囲まれて残っている。道路に面している西側よりロマネスク風の窓をみることで、みる。現在も、教会関係の子ども会、ボーイスカウトの集会などに利用されている。

同じくシスター館も、旧正門の右手に落ちついた赤い屋根、とんがり屋根などその風格を保ち、みどりの樹木のしげみの中に美しく建っている。

イエズス会黙想の家(上石神井四丁目)

昭和初期に建てられた洋風建築である。うっそうとした、手入れのよくいきとどいた構内の木々のトンネルをぬけ、静寂なたたずまいの建物、芝生のグラウンドの右手につたのからまった高いへい、の奥に、黙想の家がある。

建物右手には、大きなロマネスク風の丸まどをみる事ができる。長年の祈りのしみこんだ木造建築で、時代の流れに、少しずつその様相も変えられ、建築当時の窓わくはとりのぞかれ、サッシに変わ、近々屋根も修復の予定とか。:

その建物の奥には、木々に囲まれた小道小さな草花、西洋風の日時計、あずまやなどのある、祈りをたすける静かな庭

園がある。

文化財保護推進員 長坂 淳子

公園予定地の遺跡調査にあたり、発掘体験を通して子供たちが歴史や考古学に興味をもつことや、将来この遺跡を活かした公園づくりをすることを目的として、区内小・中学校と地元町会等で発掘探検隊を結成、7月24日から3週間・3回の調査をしました。またこの期間中に、7月29日と8月5日の2回親子発掘教室を行いました。

調査の指導にあたったのは、明星大学講師の玉口時雄氏を団長とする東早淵遺跡調査団のみなさんでした。調査の結果として、弥生時代の竪穴住居址一軒や竪穴状遺構、壺、台付甕^{たぐみ}などや、縄文時代の土器、鏃^{やぶ}、先土器時代の槍先形石器などが出土しました。

参加した方のうち、田柄二小6年27名のみなさんや、開進一小4年元屋君からののしい体験記・レポートをいただきました。紹介できないのが残念です。

東早淵遺跡の調査は、小中学生・地元住民など延2千人ほどの手で行われました。このあと、遺跡調査団によって学術的な調査が行われ、調査した遺構は埋め

東早淵遺跡発掘探検隊



戻し保存されて、将来公園となる時に活用されるまで眠っています。

練馬区郷土資料調査員 都築 恵美子

みんなてとばした
メッセージ

全国のみなさんへ
東早淵遺跡より
練馬区が公園をつくるために買った
地帯から、弥生時代を中心とする遺跡
が発見されました。その発掘調査を
行うにあたり「東早淵遺跡発掘
探検隊」をつくり、市民のみなさん
と協力をしました。
これは、2000年までの人の生活を
のぞいた探検隊からのメッセージです。

みんなてとばした
文化財
活かせよう
みどりて

練馬区郷土資料調査員 都築 恵美子

わっくわっく、楽しく、ウオークラリー

春の史跡散歩に続いての参加でした。30年以上も練馬区に暮しておられますが初めて石神井公園を訪れました。駅からそう離れてはいないのに、別世界が目の前に広がりました。2つの池は豊かに水をたたえて水鳥が泳ぎ、木々には実のなっているものもあつて秋を感じました。

歴史は苦手なので、史跡散歩のように詳しく説明していただくことも大変勉強になるのですが、今回のウオークラリーのようなクイズ形式ですと、自分で答えを探さなければなりませんので、普段見過ごしてしまいがちな説明板を穴があくほど？良く読み、樹木に関するクイズでは、思いきり天を仰ぎ観察しました。またウオークラリーは、足に自信がな

い人でもその人のペースで歩くことができ、わっくわっくお寺や神社が楽しめたのではないかと思います。

一つ残念だったのは、三宝寺池の蓮の花のそばに空缶が浮いていたことです。「自分だけならいいだろう」という心持ちが自然を破壊していくのだろうと思いました。

都市の中に残された自然を後世に残せるよう守っていきたい。また守って欲しいと思いました。

今回は、とても楽しい企画を提供していただき、大変ありがとございました。またの企画を楽しみにしております。錦一丁目 匿名希望の佐藤 A 子さん

文化財日誌

(平成元年7月1日～9月30日)

〈7月〉

4日 埋蔵文化財実踏(春日町五丁目)

10日・11日 東早淵遺跡道路部分発掘調査(早宮一丁目)

21日 東早淵遺跡発掘探険隊・都立埋蔵

文化財センターと同「縄文の村」へバス見学。

25日・26日 都立城北中央公園内栗原遺跡の竪穴住居跡の見学(氷川台一丁目、区民施設見学会)

24日～28日 東早淵遺跡発掘探険隊による東早淵遺跡の調査・第一回(早宮一丁目)

21日 東早淵遺跡発掘探険隊・都立埋蔵

文化財講座

12/6～8

本年度第二回目の文化財講座です。瓦かわらについて学び、瓦を通して練馬や川越に残る土蔵の美しさを味わいます。

▽内容 講義(第一・三日目)と見学▽見学先 川越市蔵造りの町並(7日)▽定員 45名 ▽応募は往復葉書で。定員を越えた場合は抽選。詳しくは区報11月21日号をご覧ください。

〈8月〉

29日 東早淵遺跡・親子発掘教室第一回
31日～4日 東早淵遺跡発掘探険隊による東早淵遺跡の調査・第二回

5日 東早淵遺跡・親子発掘教室第二回
7日～11日 東早淵遺跡発掘探険隊による東早淵遺跡の調査・第三回

10日・11日 富士見池遺跡群・天祖神社境内試掘調査(関町北三丁目)

16日 埋蔵文化財実踏(豊玉北二丁目)

24日 土器焼き(東早淵遺跡発掘探険隊)

28日 埋蔵文化財立会(旭町三丁目)

〈9月〉

5日 文化財保護審議会視察(第一部会)

13日 文化財保護推進員会

18日 文化財保護審議会視察(第二部会)